

# WYD2008 in Sydney

世界青年の日 シドニー大会



**WYD08**  
**SYD08**  
world youth day sydney 2008

「あなたがたの上に聖霊が降ると、  
あなたがたは力を受ける。そして、私の証人となる。」  
(使徒言行録 1・8)

札幌教区報告書

《 主の平和 はじめに 》

WYD（世界青年の日）は、前教皇と現在のベネディクト 16 世そして教皇庁と各国の司祭団が力を一致させ、青年たちを要理教育し教会の本質であるキリストと出会い、キリストの復活を信じて深める巡礼・復活の希望を持って歩む旅です。ホームステイと寝袋を使った過酷な 9 日間の巡礼の旅でした。

大会そのものが聖週間となり受難と復活の神秘を体験し味わい、それぞれの国に帰って得たものを沢山の人たちに伝達する。キリストの兵士になるための 2 年～3 年一度青年を集めて「世界青年の日」を大切にしている大会です。

さらに苦難や喜び、聖霊を感じ愛を深め、支える心のこもった若者へのプレゼントです。聖霊の息吹に支えられ証人となって生きること、キリストの熱い心を体験する場でもあります。今回のテーマも「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、わたしの証人となる（使徒言行録 1-8）」でした。熱い信仰です。

受難と忍耐、苦しみの中から皆ひとつになって祈り復活の神秘を味わいました。また堅信と聖霊の力と賜物と呼び起こされた方も多はずです。いろいろな「多様性」も大切なことですが、すべてはキリストの手足であり、国や人種など超えて最終的な目的は「一致」です。そして派遣される。このことを忘れずに述べ伝えていきたいと感じます。世界中から最終日は 40 万人がオーストラリアの地に集まりました。言葉の壁や国越えた交流も大切ですが、それぞれの言葉で「主の平和」を言い、握手やハグをしながら一致したこの大会はたぶん人生の宝物となると思います。

ぜひ若者の皆様、主の呼びかけや聖霊の力に押されて“勇気を持って”次回開催国のスペイン（マドリード）大会に多数参加されますように。恐れず一歩前に出ましょう。新しい価値観や親友そして何よりもキリスト様・パパ様との関係が強く強く深まること、信仰の確認も出来るでしょう。仕事をやめて命がけで参加している若者もいましたが、なるべくなら今の環境を変えずに参加しましょう。ぜひぜひ恐れず一歩進みましょう。また準備はしっかり事前に行ないましょう。

そしてキリスト者の先輩の皆さんには、若者の背中を押す聖霊の力を貸してください。

先輩方の信仰の背中を見て若者も育っています。まだまだ現役でわたしたちに技の伝達と熱い信仰を伝えていただけると幸いです。今後ともご理解と支援よろしくお願いいたします。パパ様や司教団をはじめ各教会の皆様にご感謝し、更なる一致とペトロを中心としたカトリック教会の為に奉仕できればと皆感じております。すばらしいカトリック教会の宝物の“ゆるしの秘跡”の力を信頼し、更なる信仰が深まりますように、皆様と共に“あかし”できれば幸いです。ありがとうございました。

# 北海道からの参加者紹介

(担当：名和)

今回の大会は7月上旬から中旬にかけて行われたため時期的な問題から休暇を取ることができないという人が多かったものの、日本全体では100名以上もの参加がありました。このうち、北海道からはアシスタントの森田神父様と4人の青年が参加しました。ここでは簡単にその顔ぶれをご紹介します。



左から西川・田中・Fr 森田・池之上・名和

## 森田健児神父様 (中央：月寒教会)

一昨年に叙階なさったばかりの青年司祭。今回の巡礼では過酷なスケジュールをものともせず飄々と日程を消化。厚い信仰だけでなくタフさも兼ね備える。

## 西川武志 (左端：砂川教会)

一瞬にして場を和ませるオーラを持っており、その優しさに救われた参加者は数知れない。しかし一方で熱い一面を見せることも。

## 田中雄馬 (左から2番目：月寒教会)

どんな国の人とでもすぐに打ち解ける能力を持つギタリスト。オーストラリアをリスペクトするあまり、今も一人向こうに残り生活を続けている。

## 池ノ上ジェームズ博 (右から2番目：帯広教会)

名前からもおわりの通り、彼の体には英国の血が流れておりその卓越した語学力は幾度となく我々を救った。日本巡礼団の中心として活躍。

## 名和泰広 (右端：北11条教会)

北海道からの参加者中、最も臆病でありようやく外国に順応し始めた頃に WYD が終了した。フィジカル・メンタル・語学力すべてに実力不足を痛感。

# オーストラリアでの日々

A 日程は 5 日間早めに着きホームステイしました。

7月9日 1日目



## 聖メアリー大学

日本より 18 時間の旅を経て一休憩。ここで登録をし、10 万人以上がもらうリュックをいただきました。他に韓国、イタリアなど各国の人が来ていました。この後、ホームステイ先に向かいました。これから始まるんだとドキドキしました。

7月10日 2日目



## フレイジャー島

ホームステイ先のメリーボローの町から港まで 30 分ほどバスに乗り、船でアボリジニーが住んでいたという島に行きました。ここではアボリジニ料理と島の案内を体験しました。景色もよく、人々も暖かかったです。

7月11日 3日目



#### バーベキューとダンスパーティー

地元の方々が夜にバーベキューパーティーを催してくださいました。バーベキューの後、皆で楽しく踊りました。オーストラリアのダンス（ブッシュダンス）と日本の炭坑節（聖霊編）を踊りました。民族を乗り越えて楽しみました。

7月12日 4日目



#### 御ミサ

日曜日はみんなで御ミサに預かりました。地元の神父様と日本からの神父様、合同で御ミサをしてくださり感動しました。神の愛、神への愛は普遍と感じられた日でした。